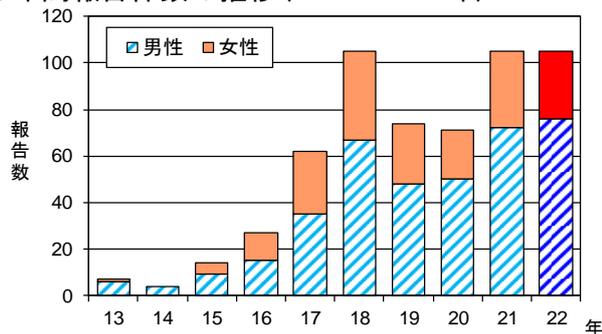


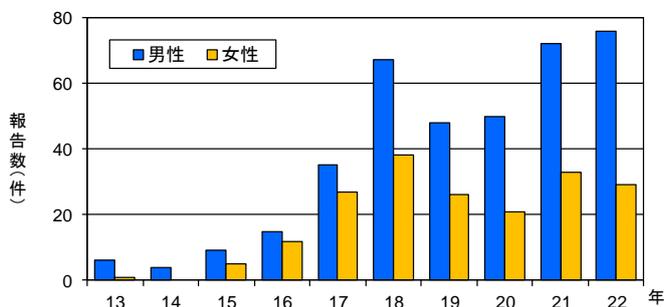
(発生状況資料 (2022年5月22日現在))

●年間報告件数の推移(2013~2022年)



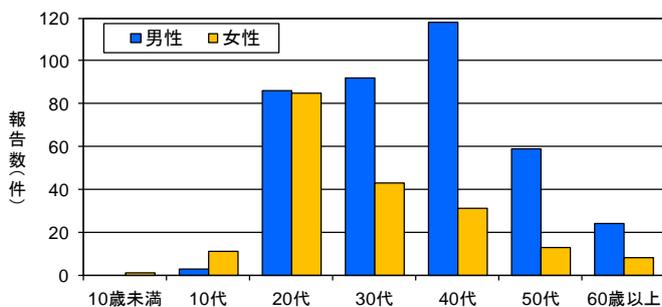
1月の集計開始後、約半年で過去最多の2018年及び2021年に並ぶ報告数であり、過去最速。

●性別による比較(2013~2022年の累計)



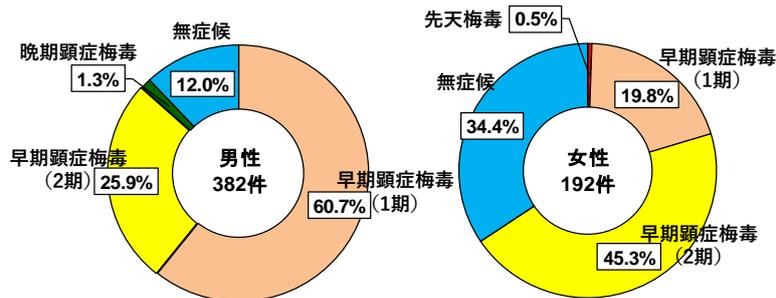
2015年以降、女性の報告数が増加し、高止まりの状況。女性の方が症状に気づきにくいいため、積極的な検査が勧められる。

●年齢階層別報告数(2013~2022年の累計)



男性は20~40代、女性では20代での報告が多い。

●男女別症状内訳(検査受検時の進行状況)(2013~2022年の累計)



男性は早期顕症梅毒(I期)が最多で約60%、女性は早期顕症梅毒(II期)が最多で約45%を占める。